

週刊

うたごえ新聞

1/5・12

(1998年)

NO. 1648

THE SINGING VOICE OF JAPAN (UTAGOE)

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行

'98 新春

日本のうたごえ運動創立50周年!

いのち輝く21世紀へ



▲黒田清・50周年記念日本のうたごえ祭典大阪ドーム実行委員長、ジャーナリスト



歌おう

黒田清

新しい世紀が近づいている。私たちの世紀が近づいている。私たちの世紀に、私たちは新しい歌を歌おう。

▲武器を持たない沖縄の民。沖縄の歴史、心を「エイサー」にこめて大阪ドームへ。「エイサー」実行委員会のみなさん

| | |
|----------------------|----------|
| 新春号 目次 | |
| 新春 草創期のうたごえ 50周年 | 新春 座談会 |
| 福井敬さん他 3面 | 4・5面 |
| 大阪ドームから 東京国際フォーラムへ | 21世紀の合唱へ |
| 6・7面 | 10・11面 |
| 21世紀へ歌創りキャンペーン 地雷を花を | 楽譜紹介 |
| 10・11面 | 12面 |

あなたにつたえたいいのち・愛・平和
50周年記念日本のうたごえ祭典

in大阪 (98年1月23~25日) in東京 (98年11月21~23日)

私たちの歌を歌おう。
あの暗かった戦争の時代、私たちは自分の歌を持たなかった。「お国のため」に与えられた歌を歌った。異様に大きい声で、わめくように歌った。平和が来て、自由のすばらしさを知って、私たちは、はじめて自分の歌声で、自分の歌を歌うことを知った。あれから五十年、私たちの時代が流れ、私たちの歌が流れる。私の歌を君は聴き、君の歌を私は聴く。そして、それが自然のうちに一つになって、高く低く、流れていく。そんな歌を一緒に歌おう。五十年たって、私たちの平和は私たちの自由は、揺らいでいる。私たちが黙ってしまえば、歌うことをやめたら、私たちが、私たちの歌を歌わなかったら、私たちの新しい世紀も揺らいでしまう。平和の火は、自由の火は、無言の闇の世界の中で、大きい無気味な力に吹き消されてしまふ。そんなことのないように、私たちは歌おう。私たちの歌を。

「国を超えて、今、人々が心通わすために、私は音楽を通して、まず私のできることから始めたい。私は政治のことはわかりませんが、しかし、わかることから行動したい」
アジア・フィルハーモニーの指揮者ジョン・ミュンファンは語る。
☆ ☆ ☆
韓国出身の彼はアメリカの音楽学校に進み、早くから指揮者の道を歩いてきた。パリ、イタリアの国立劇場の指揮、音楽監督をつとめている彼がアジア・フィルハーモニーを結成しコンサートやCDの収益金を例えば昨年も重油回収のために送っている。
☆ ☆ ☆
「水準の高い音をめざすなら、日本は一流で、アジア・フィルハーモニーなどの日本のオーケストラにも及びません。しかし、大切なのは何をなすか、です。この50年、その前も含めて、アジアほど同じアジアの国々同士が理解しあわない国はないと思つ。私は音楽を通して、若い人と接し、社会に貢献したい」と。
☆ ☆ ☆
うたごえ創立50周年の年が明けた。「50年続いたからおめでたいのではない。50年を経て、なお、時代を映し、時代にはたらきかけ、生きるあかしとなり続けているから、祝うに値するのである。」「とドーム祭典・演出家のふじたあやの氏のメッセージが寄せられている。(純)

